

—わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い—  
ミュージアム都留からののお知らせ

収蔵資料展『郷土の画家展—花鳥画を中心に—』

7月1日(日)まで

関連イベント

初心者のための水墨画教室

墨一色でさまざまな世界を表現する水墨画の世界を体験してみませんか？初めての方でもお気軽にご参加ください。

指導 都留墨友会

日時 6月10日(日)・24日(日)午後1時～

場所 ミュージアム都留研修室

定員 20名まで

※参加される方は事前にお申し込みください。定員になり次第締め切りとなります。

参加費 1,000円(材料・道具代)

持ち物 筆洗い用のバケツ、墨とき用小皿(3枚)、新聞紙、書道用文鎮

申込期間 5月31日(木)まで



勝山城のなぞに迫る！

このコーナーではこれまで、小山田氏に焦点を当ててきましたが、今回は谷村の城下町に焦点を当ててみたいと思います。

谷村にはかつて城下町として栄えていた名残りが所々に残されています。例えば町名がその1つです。

江戸時代に編さんされた歴史書である『甲斐国志』には、「文禄ノ頃マデハ上中下ト三町ナリ後別レテ数町トナル(中略)町ニ入りテ東南ニ行クコト二町許リ是ヲ横町ト云フ西南ニ折レテ下町・中町・新町・早馬町・上町・下天神町・上天神町・袋町・裏天神町、合セテ十町往昔ノ城下ノママニテ今存セリ」という記述が残されており、現在の町名がいくつか確認できます。また、この記述からは浅野氏重が在城していた文禄年間には上・中・下の3つの町が存在し、秋元氏の時代になり現在に繋がる町が築かれていったことがわかります。谷村に残された城下町の名残りはまた順次ご紹介していきたいと思います。

ミュージアム都留ホームページ内の「勝山城跡学術調査」では、過去に連載してきました「勝山城のなぞに迫る」をご覧ください。

<http://museum.city.tsuru.yamanashi.jp/kat-suyamakoho.html>

ミュージアム都留「寺小屋教室」

のご案内

古文書教室

主として「ミュージアム都留」所蔵の古文書の中から、基本となるものを選び、社会的・歴史的な背景を踏まえながら、解説を試みます。

講師 小林安典、清水正賢、武井一郎  
開催日 6月10日、7月8日、8月12日、9月9日、10月14日、11月11日の各日曜日

郷土教室

○民俗講座  
身近な年中行事や民俗信仰の神様、仏様の話。風俗習慣や言い伝えなどについて理

解を深めます。

講師 安富一夫

開催日

12月9日(日)、平成20年1月13日(日)

○歴史講座

甲斐国が徳川領となった初期41年間、都留郡領主として郡内を治めた鳥居氏の系譜や業績について学びます

講師 内藤恭義

開催日

平成20年2月10日(日)、3月9日(日)

共通事項

開催場所 ミュージアム都留

開催時間 午前10時～11時30分

参加料 無料

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館)、第3火曜日、祝日の翌日

観覧料 一般 300円(210円)

高・大学生 200円(140円)

小・中学生 100円(70円)

※( )内は20名以上の団体料金

※チケットは増田誠美術館と共通券となっています。

問合せ先 ミュージアム都留 ☎(45)8008



朝焼けの富士

増田誠美術館

増田画伯が描いた山

会期 6月17日(日)まで

開館時間 午前9時～午後4時30分

会場

増田誠美術館(ふるさと会館2階)

休館日

月曜日、第3火曜日、祝日の翌日